

2011年5月（夏号）

宇賀岳病院理念

誠実な医療を実践し地域に貢献します

基本方針

- ・地域ニーズに応える
- ・安全な医療の実践
- ・魅力ある職場づくり



日本医療機能評価機構

東日本大震災の影響と 今後の宇賀岳病院の取り組み



理事長
清水 寛

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、多数の死亡者と行方不明者を出す未曾有の大惨事となりました。

また、この地震及び津波の影響で福島原子力発電所が大きな被害を受け、放射性物質が大气や海に拡散し、農業・畜産業及び漁業関係者に甚大な影響を及ぼしており、今後どうやって終息を迎えることが出来るのか不安な日々が続いています。

今回の震災では、行政等の受け入れ態勢、情報の共有、指揮命令系統、通信網、交通網等に多くの問題を指摘され、我が国の後方支援機能の脆弱さが露見される結果となりました。一方、訓練を日々行っている自衛隊及び警察、消防隊の『必死の活動』に多くの賞賛の声が上がっています。

また被災した方々の冷静な行動と忍耐力、団結した地域力等は、

世界中の多くの人々に感動を与え、海外のメディアからも高い評価を受けています。戦後60年が経ち、途絶えたかにもえた日本人の『自助・共助・公助』の精神が脈々と受け継がれ、見事に発揮されていることに喜びを感じます。

決して三陸沖や東南海地域だけが要注意ではありません。宇城市の周辺には関東から九州へ、西南日本を縦断する大断層（中央構造線）が通り、別府～島原地溝のうちの島原～熊本地溝（大矢野層）があり、阿蘇山や雲仙岳も近く、いつ地震や火山噴火が起こるかも知れません。

宇賀岳病院も災害拠点病院、救急病院として、耐震化される新病院は災害時に十分機能を発揮出来る構造となっています。

震災で病院機能が停止しないようにハード面、ソフト面を充実させて、今回の東日本大震災の教訓を生かし、情報の共有、後方支援（問題）、医療チーム編成、他の医療機関との連携等について、我々の災害対策をもう一度再検討し強化することが必要だと考えています。

社会医療法人成り



病院長

江上 寛

宇賀岳病院は特定医療法人黎明会の病院です。これまで地域における救急医療機関、災害拠点病院、感染症指定病院として公益性の高い仕事を行ってきましたが、これらの実績が認められ、熊本県知事より平成23年5月1日をもって特定医療法人黎明会は社会医療法人として認定されることとなりました。

社会医療法人とは、救急医療や災害時における医療、へき地医療、周産期医療、小児医療（小児救急を含む）など地域で特に必要な医療（救急医療等確保事業）の提供を担う医療法人を新たに社会医療法人として位置付け、良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を図ることを趣旨として、平成19年に創設された新しい法人類型です。そして平成20年度より、医療法人のうち、地域で特に必

要な医療など公益性の高い医療を担い、一定の要件に該当するものとして都道府県知事の認定を受けたものを社会医療法人とすることが決まり、認定が開始されました。認定されますと公的病院や済生会、赤十字病院などと同等に税制上の優遇処置が受けられます。公的役割として地域で政策医療を担ってきた民間病院にとりましては効率的で極めて有用な制度です。現在、全国でおよそ45000の医療法人がありますが、そのうち、平成23年4月1日現在で136法人が社会医療法人として認定されています。病院もひとつハードルを越えたという思いです。地域貢献を理念に、与えられた役割を誠実にはたしてきたことを評価いただいたと思っています。これまでの地域の皆様のご支援に感謝申し上げますとともに、実績を積み重ねてきた職員の頑張りに敬意を表します。今後も病院が社会医療法人にふさわしくあり続けられるよう努力を続けます。

セーフティマネージャーが 変わりました



岩井芳孝

今年4月からセーフティマネージャー（医療安全管理者）として配属になりました。昨年までは外来師長としてお世話になっておりましたが、今後は、病棟、外来での業務経験を活かし、病院の基本方針の一つでもある「安全な医療の実践」を目指し、未熟ながら事故防止に向けて活動していきたいと考えています。

また、当病院は新病院建設に向けての準備を進めていますが、施設設備の変更のみでなく、オーダリングシステムや電子カルテの導入など業務工程が変化する中で、新たな問題が発生する可能性があります。その問題が患者様にふりかかる事がないよう、関係各所との協力体制のもと未然防止や早期発見のための対策をとり、安全管理を進めて行きます。さらに、病院を良くする為に、来院される方々からの御意見や相談などにも対応して行きたいと思えます。

副院長に就任して

副院長

竹田晴生



本年2月1日より副院長に就任さ

せていただきました竹田晴生と申します。私は熊本生まれの熊本育ちで、熊本大学医学部を卒業後、熊大代謝内科に入局し、糖尿病を中心とした生活習慣病の診断と治療に専念して来ました。大学病院では医局長や講師を長年務めさせていただきました。平成7年から八代総合病院糖尿病センターに赴任しました。その後11年間にわたって八代で大勢の糖尿病患者さんの治療経験を積んだ後、平成18年から当院の糖尿病センター長として当院に勤務しています。

趣味は下手の横好き程度のものばかりで、ゴルフ、マージャン、写真撮影、ドライブなどをたまにする程度です。ただし、特技のようなものとして、パソコンを用いた糖尿病教育のためのスライドやポスター作り、糖尿病情報誌の編集や執筆等があります。中でも、一昨年から日本糖尿病協会の機関誌「さかえ」に糖尿病患者を主人公とした連載小説を書き始めたところ、結構好評のため、最近ばかりはまって書き続けています。

ところで、本年5月1日より当院はこれまでの「特定医療法人」から「社会医療法人」へと格上げになりました。これは、当院が地域中核病院として社会貢献を果たしてきた実績が評価されて熊本県から認可されたものです。また、当院は5年前から病院機能評価バージョン4の認定病院となっていますが、本年3月にバージョン6での認定更新審査を受けました。審査員の評価は良好でしたので、バージョン6も近々認定されるものと確信しています。この認定も、当院が地域に貢献する地域拠点病院としてふさわしい機能を維持していることを示すものです。さらに、当院は来年秋に国道3号線と218号線の交差点付近に新築移転の予定です。現在は駐車場が狭い上に病院の施設も散在しており、迷路のようになっていてご迷惑をおかけしていますが、新病院は広い駐車場を有した5階建ての機能的な配置の病院として生まれ変わります。これまで以上に通いやすい便利な病院になりますので、どうぞご期待ください。

今後は院長の江上寛先生および理事の諸先生方と力を合わせながら、宇城地域の皆様方に信頼される真の地域拠点病院となれるよう、病院機能のさらなる充実に図っていきたく考えています。今後ともよろしくお願い申し上げます。

第9回 クリーン作戦

4月22日（金）、宇城市環境保全隊の方と当院職員総勢約250名で、国道266号線沿いと病院敷地内の除草・清掃作業を行いました。

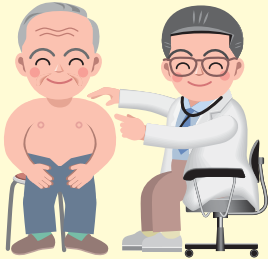
今後もこの活動を継続していきたく思います。



新任医師紹介

整形外科 岡元信和医師

岡元信和と申します。
この度、毎週一回木曜の午前中に整形外科の外来診療をさせていただくことになりました。膝、足関節を専門としております。週に一回ですが、微力ながら地域のお役に立てるようがんばります。趣味はゴルフですが、忙しくなかなかラウンドできておりません。宜しくお願い致します。



放射線科 前田陽夫医師

熊本マリスト学園高等学校、福岡大学を卒業後、熊本大学放射線科に入局し、医局人事で熊本市内、福岡、宮崎と様々な病院を転々としてまいりましたが、6年ほど前、浦島太郎のような状況で、増改築の進んだ熊本大学へ復帰しました。その後、熊本市市民病院に3年半程勤務し、ようやく熊本市に腰を下ろした生活が送れるようになってまいりましたが、この度ご縁があって、宇賀岳病院放射線科医として働かせて頂くことになりました。幸か不幸か、転々としたいずれの病院でも、画像診断支援下の検査や治療（血管造影/塞栓術/拡張術、血流変更術、動注化学療法、ラジオ波焼灼術、CTやエコー下での生検/マーキング等）に携わって参りました。これらの経験を生かして、この地域での医療の一端を担うことができると考えています。どうぞよろしくお願い致します。



◆外来医師一覧表◆

※平成23年6月6日～(予定)

診療科		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
外科	診療担当医	飽田 和博	江上 寛	松田 貞士	栗崎 貴	並川 和男	休診 [救急対応]
	午後	手術・救急対応					
総合診療科(外科系)	診療担当医	中野 章		中野 章			
	午後	病棟回診・救急対応					
整形外科	診療担当医	塩川 徳	井 賢治	担当医 ※1	岡元信和(非常勤)	赤城 哲哉	
	午後	手術・救急対応					
内科	診療担当医	中村 亮斉	福田 秀明	米良 昭彦	采田 憲昭	小山田直朗	
		采田 憲昭	盛 三千孝	小山田直朗	中村 亮斉	福田 秀明	
		米良 昭彦	心エコー(中止予定)				
午後	病棟回診・救急対応						
神経内科	診療担当医			平原智雄(非常勤)			
循環器内科	診療担当医			午後 千年忠祐(非常勤)		午前 泉家康宏(非常勤)	
糖尿病センター	診療担当医	竹田 晴生	竹田 晴生	竹田 晴生	竹田 晴生	竹田 晴生	
小児科	診療担当医	AM	板井 義男	村上 幹彦	板井 義男	村上 幹彦	板井 義男
		PM	板井 義男	板井 義男	板井 義男	板井 義男	板井 義男
泌尿器科	診療担当医	中村 武利				中村 武利	
内視鏡検査担当医	AM	松田貞士・小山田直朗	小山田直朗・栗崎 貴	栗崎 貴・飽田和博	松田貞士・飽田和博	栗崎 貴・采田憲昭	
	PM	飽田和博・松田貞士・栗崎 貴	小山田直朗	采田憲昭	松田貞士・小山田直朗	栗崎 貴	
健診センター	診療担当医	AM	並川和男(予約制)	並川和男(予約制)	並川和男(予約制)		
リハビリテーション	AM	《受付時間》9:00～11:30					
	PM	13:30～15:30					

※1 水曜日の整形外科の診察は手術担当医以外の医師が診察します。

受付時間【平日】 8:30～12:00(但し、泌尿器科 11:30 まで、整形外科 10:30 まで) 【土・日・祝日】 休診(救急対応)
《小児科夕診》受付時間 月曜～金曜 14:30～16:30